



ふるまいの美しい川と海を守る——下水道

下水道は、雨水や汚水をすみやかに排除し、悪臭や八工、力の発生を防いだり、便所の水洗化を促進するなど、私たちに快適な生活環境をもたらします。また、川や海を汚す最大の原因となっている生活排水や工場排水などを処理場できれいな状態にして放流するので、川や湖の水質を保全するためにもたいへん重要な施設です。下水道整備事業には、小さな土木工事から機械、電気設備工事に至るまでさまざまな事業が発生し、その経済的波及効果も大きいことから、地域活性化の面からも大きな期待が寄せられています。

● 急がれる排水処理施設の整備
平成三年度末、県内で公共下水道の処理を開始しているのは、十市十一町。これを人口普及率で見ると約三二%で、全国平均の四五%に比べるとかなり低いのが実情です。また、生活排水の影響を強く受ける中小河川での水質汚濁はいまだ改善されておらず、河川における環境基準の達成率は五三・八%と全国平均の七三・〇%を大きく下回っています。

県下では、このような状況を踏まえ、五カ年計画（平成三年～七年総事業費一、八九〇億円）をもって下水道の整備を積極的に進めています。同計画終了時には、十市十四町で下水道処理が

なされる予定です。

● 熊本北部浄化センター
公共下水道は、原則としてそれぞれの市町村で下水の処理がされますが、二つ以上の市町村の区域に渡り、下水道を整備することが効率的かつ経済的な場合があります。その好例が、熊本市鶴羽田町の「熊本北部浄化センター」です。（写真下）

熊本都市圏北東部は、熊本市のベッドタウンとして、近年急速に市街化が進んでいます。当地区内を流れる坪井川や堀川は、生活排水の影響を受けて水質の汚濁が進み、水質環境基準を大きく上回っていました。しかし、今後、

さらに、宅地開発による市街化が予想されるため、熊本市・菊陽町・合志町にわたる約三、一〇三の区域を対象に「熊本北部流域下水道事業」が実施されています。

同事業は、昭和五十七年に着手され、約七年の歳月をかけて、平成元年三月に施設の大部分が完成。同時に一部の区域を対象に下水の処理を開始しました。同センターは、下水処理場とは思えないほど緑に包まれた素晴らしい環境にあり、特に中央管理室や水質試験室を含む管理本館は和風屋根の落ち着いた雰囲気、訪れる人に好評を博しています。

● 自分たちで守るくまもとの美しい水
川や海を汚す大きな原因である生活排水。その中でも大半を占めているの



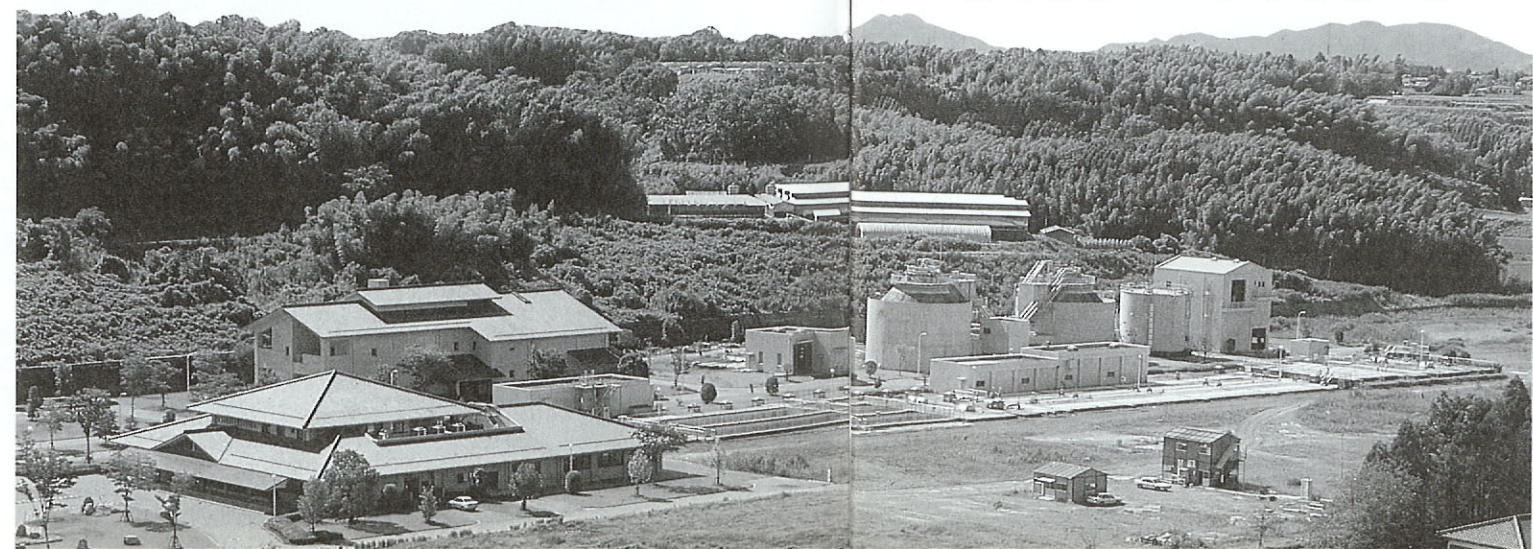
子どもたちも大好きな江津湖。この環境をいつまでも...

が台所排水や入浴・洗たくによる排水です。県では、「生活排水対策ボランティアリーダー」の育成につとめ、各地で川をきれいにする運動を進めています。

その一つ、熊本市託麻南校区では、地区住民で食器の洗い方や洗剤の使い方を工夫するなど、ちょっとした心がけを実践した結果、水質の汚濁を約三割ほど削減できたという報告がなされています。

きれいな川にはヤマメやカワゲラ、反対に、汚れたところではイトミミズやタイワンドジョウといったように、水の汚れ具合は、川に棲む魚や昆虫などの調査でも知ることができます。県では、「大変きれいな水」「大変きたない水」の四段階表を利用し、毎年、県内の小・中・高校や各種団体のボランティアを中心に河川の水質調査を実施しています。

くまもとの優れた水資源。県民共有の財産として、美しいまま後世に残したいものです。

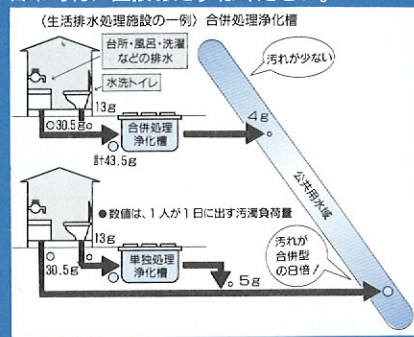


合併処理浄化槽も効果バツグン!

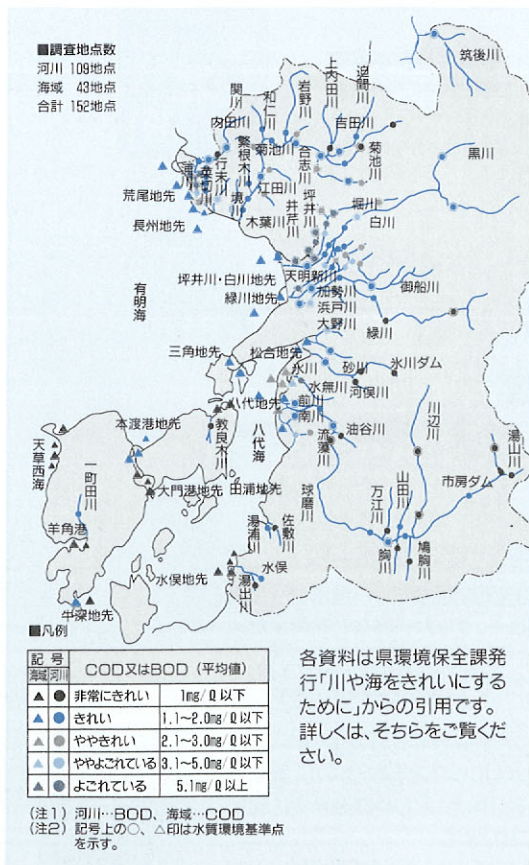
下水道などが普及していない地域や当面、下水道の整備計画のない地域では、「合併処理浄化槽」の設置が有効です。これは、言わば「家庭のミニ下水道」。便所の水洗化と同時に生活排水を浄化することができ、し尿だけを処理する「単独処理浄化槽」に比べると、川の汚れを約八分の一に押さえることができます。

合併処理浄化槽の設置に対して、県では融資制度を設けています。また、市町村によっては、補助制度がありますので、これを利用すると便利です。家の新・改築の機会にご確認ください。

- お問い合わせ
- * 融資制度に関して 環境公害部環境保全課 (096) 383-1111 内線5038
- * 補助制度に関して 各市町村に直接おたずねください。



● 県内の川や海の水質環境基準類型図及び水質の状況(平成元年度)



な・る・ほ・ど水質保全

■家庭でできる生活排水対策

- ★汚れた食器類は、キッチンペーパーなどで拭きとってから洗う。
- ★流しには三角コーナーを置き、ろ紙などを取りつける。
- ★流しの排水口にはストッキングなど目の細かいものを取りつける。
- ★野菜くずや食べかすを埋めて土にもどす。米のとぎ汁も植木や畑の散水に利用する。



- ★風呂の残り湯を使う。(洗たくは水温が高い(20~40℃)ほど汚れがよく落ちます)(図1)
- ★洗剤は、石けんなどリンを含まないものを適正な量で使う。(洗剤を多く使っても洗浄力はあまり変わりません)(図2)

